

M^{群星}_{【むりぶし】}uribushi

【特集1】

平成23年度持続可能な沖縄観光の推進方策検討調査

【特集2】

「商店街から交流街へ」を目指して～沖縄市中心市街地活性化の取組～

7月★8月号 2011年

隔月発行
July
★
August



..... 表紙写真

【東平安名崎】 (宮古島)

「東平安名崎(ひがしへんなざき)」は宮古島の東側に細く突き出た全長およそ2キロに及ぶ岬で、琉球石灰岩のカルスト地形の上に固有の海岸性植物が群生する美しい景勝地として知られています。毎年恒例のトライアスロンではテッポウユリを眺めながらのバイクコースとして全国のアスリートにも馴染み深いポイントです。宮古島の貴重な財産を是非「来て! 見て! 感じて!」いただきたいと思います。

写真・文 OKtaka

群星 【むりぶし】 Muribushi

CONTENTS

沖縄のキャラクタービジネスプロジェクト

株式会社南西産業 代表取締役社長 島中 敏成
株式会社マブヤー企画 代表取締役

01 地域が目

02 特集 1 平成 23 年度持続可能な沖縄観光の推進方策検討調査

04 特集 2 「商店街から交流街へ」を目指して ～沖縄市中心市街地活性化の取組～

特集

08 仕事の窓 1 総務部 中小事業者のための移動相談会

10 仕事の窓 2 財務部 管内経済情勢報告 (平成 23 年 6 月)

12 仕事の窓 3 総務部 沖縄振興功績者表彰

仕事の窓

13 財務部 財務行政モニター会議を開催 農林水産部 「まると沖縄クリーンビーチ 2011」 オープニングセレモニーを開催

14 農林水産部 ファーマーズマーケットがオープンしました 農林水産部 六次産業化法に基づく総合化事業計画の認定について

15 経済部 沖縄中小企業海外展開支援本部会議の開催について 経済部 「沖縄地域知的財産戦略本部会議」の開催について

16 運輸部 平成 23 年度陸運及び観光関係功労者 沖縄総合事務局長表彰 運輸部 平成 23 年度陸運関係功労者陸運事務所長表彰

局の動き

17 内閣府便り

18 なかゆくい

20 お知らせ

うちなー 農林水産物

#1

No. 1

ワン!



～かつお節・削り節の消費量～

沖縄には農林水産物にまつわる様々なNo.1があり、今回から5回にわたり紹介していきます。

沖縄の年間1世帯当たりのかつお節・削り節の消費量は1.8kg(全国平均の6倍)で全国No.1となっています。かつお出汁を様々な料理の基本とする昔からの食文化により沖縄では多く消費されていますが、実は、現在、沖縄で流通しているかつお節の多くは県外品です。

尖閣諸島にもかつお節工場の跡地が見られたように、かつて沖縄には、多くのかつお漁船、かつお節工場があり、沖縄の離島等における重要な産業でした。しかし、本土のかつお漁船が大型化し、かつお節の製造に係るコストダウンが図られたため、沖縄のかつお節産業は次第に衰退し、現在、沖縄のかつお漁船(5t以上)は、本部町、宮古島市、石垣市の12隻、かつお節工場は、本部町の1工場にまで減少してしまいました。

しかしながら、沖縄のかつお節産業が衰退しつつも、日常で口にする沖縄そば等のかつお節を使用した食文化は、今でも受け継がれています。



かつお節工場の様子(1960年代)

沖縄のキャラクタービジネスプロジェクト

株式会社南西産業 代表取締役社長 畠中 敏成
株式会社マブヤー 企画 代表取締役



今回マブヤープロジェクトは、沖縄総合事務局沖縄振興功績者に出して頂きました。

2008年に弊社の様な零細企業が地域の様々な皆様と共に琉神マブヤーというキャラクターを創出し、多くの企業の方々に協力を賜り、沖縄の子供を中心に多くのサポーターの皆様を支えられてムーブメントを起こしています。

当初二人の話から始まった企画がいつの間にか多くの人を巻き込んで進んでいます。

この様なムーブメントはどこから生まれてくるのでしょうか？

世の中には、多くの人が沢山の企画を進めています、ほんの一部の企画しか認知されずに流れていきます。

ビジネスの世界には、絶対的な法則は無いと思いますが、そ

の時代にマッチングした企画だけが手法を間違わなければ認知されている様な気がしています。

弊社の様な零細企業にとって生き残るためには、ニーズへのマッチングと変革、オリジナリティへの先行投資は生命線だと思います。

今回のマブヤープロジェクトの成功には幾つかのポイントがあります。

一つ目に、県内企業もしくは様々な個人による得意分野での持ち寄り企画にする事により、沖縄に特化した彫り込みが好循環したこと。

二つ目に、全体の企画の連動性を重視して重層的なサプライズを仕掛け続けられたこと。

三つ目に、沖縄というエリアの中で、企画のステージを意識して小さな目標を設定し、そのステージをクリア出来ると次のステージを目指すという好循環のサイクルが出来たこと。

勿論多くの方々に支えられ、多くのサポーターにご支援頂き続けていることが大前提ではあるのですが、継続のためのビジ

ネスを否定しないこと、沖縄のスケールと現状の沖縄の力を正確に認識することが企画のスタートだと思っています。

時代が変わり、特にコンピュータの発達により情報の発信の方法が近年多様化しています。

しかし一方で、付加価値を足していく為に仕掛ける場所としての東京は厳然と存在しています。

様々な情報発信の方法は選りばねが間違いないが増えていますが、付加価値の評価、どのターゲットにどの様な価値をどの様な手段で届けるか？という知恵の部分がより重要になってきています。

その為にも自社のスケールや地域のスケール、地域のスキル、コディネイトするための環境、プロデュース能力、総合的な地域の方向性を見据える必要性があると思います。

今回マブヤープロジェクトでは、劇場版のコンテンツを制作しています。

沖縄という一地域のヒーローが全国向けの映画を制作する企画など、普通であれば前例が

ないという一言で済まされるような物かもしれませんが、二つ目の前の目標をクリアして次のステージを目指し、一年半も時間を掛けて先行投資を続け、様々な企業と連携して目の前の問題をクリアしながら進んできました。

当然、現状のやり方が理想的とも考えていないのですが、理想論の絵は持ちながらも現実的な選択をする事で、また次のステージが始まってくれると思っています。

現状の沖縄のスケール、スキル、方向性を認識しつつ次のステージに上がるための努力が次世代の沖縄の子供達、青年達の良き前例もしくは検討課題になつてくれたら嬉しいし、今回の企画は、沖縄の失つていく物に対する気づきや子供が沖縄を知るための最初の階段であり、沖縄の原風景を思い出してもらい、沖縄の文化や生き方を考えてもらえればという挑戦でもあると考えています。

まだまだ未熟者ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

の推進方策検討調査 特集Ⅰ

に向けた基礎調査について)

1. 調査の内容

内閣府沖縄総合事務局では、沖縄地域が目指すべき将来像を示すための「沖縄地域経済産業ビジョン(中間報告)」を昨年3月にとりまとめ、今後の沖縄の重要な産業分野のひとつとして「沖縄感性・文化産業」を位置づけています。

沖縄感性・文化産業とは

工芸品、美術・骨董品、織物、出版物などのほか、芸能、音楽、映像、ファッション、デザインなど、生活者の感性に訴える商品・サービスを創出する産業をいいます。

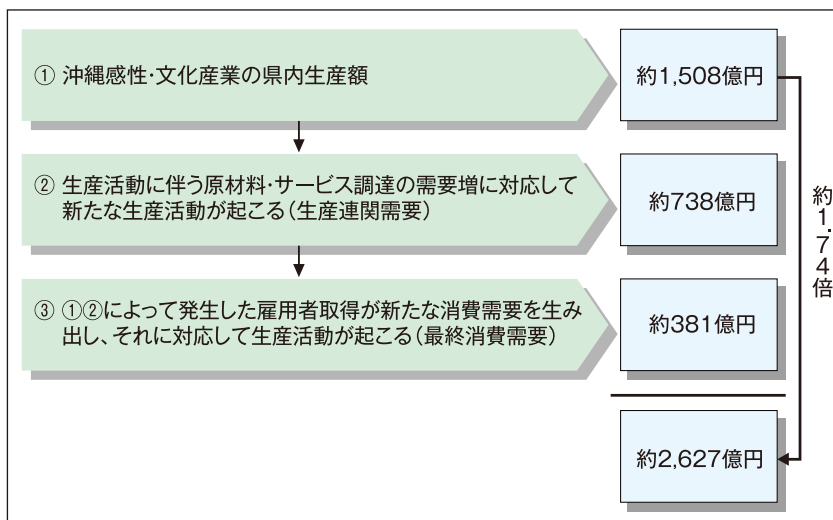


本調査は、この「沖縄感性・文化産業」に注目し、市場規模の分析や関連業界の方へのヒアリングを行いました。そして、沖縄感性・文化が今後産業として発展し、また沖縄の観光振興につなげていくためにはどうすればよいのかを検討しました。

2. 沖縄感性・文化産業の現状と課題

沖縄感性・文化産業の市場規模は約1,508億円と求められます。これは沖縄県全体の産業の市場規模の2.6%にあたります。また、沖縄感性・文化産業は約1,119億円の経済波及効果をもたらし、県内生産と合わせて約2,627億円と約1.74倍の乗数効果があることがわかりました。これは、一般にすそ野が広いとされる観光関連産業や建設業と同程度で、地域経済に及ぼすインパクトは大きいといえます。(表1)

(表1) 沖縄感性・文化産業の市場規模と経済波及効果



3. 沖縄感性・文化産業の基盤となるプラットフォーム構築のあり方

プラットフォームとは、地域内の商品の提供者と市場をつなぐワンストップ窓口としての機能を担う事業体のことです。今回の調査では、このプラットフォームの役割を重視し、観光客を魅了する沖縄感性・文化を今後どのように発展させていけばよいのか、金沢の事例を踏まえ、その方向性を検討しました。

また、これらのデータ分析に加えて、沖縄感性・文化産業の関係者へヒアリング調査を行ったところ、それぞれの業種について現状や課題が明らかになりました。(表2)

(表2) 沖縄感性・文化産業の構築に向けた現状と課題

業種分類	現状と課題
衣料・ファッション	・ かりゆしウェアの浸透は頭打ちであり、新商材の開発が求められる。
工芸品	・ 市場で出回る量産型の工芸品はリピーター観光客にとって必ずしも魅力的なものではなく、県民も好んで買うような新商材の開発が必要。
出版	・ 沖縄関連書籍では県外出版社の本で占められ、「沖縄県産本」の県外市場への展開が課題。
ソフトウェア	・ 収益性の低い受注開発の業態が多く、自社製品開発など付加価値の高い業態への転換が求められる。
映像・写真	・ 映像は部分的な受注業務が大半で低収益体質。写真はフィルム現像の需要が減っており、新サービスの開発が求められる。
音楽	・ 沖縄出身のアーティストの多くが東京から全国展開しており、今後沖縄を拠点に全国展開できるかが課題。
放送	・ ネット配信の拡大で地上波放送はメディアとしての優位性が揺らいでおり、事業モデルの転換が迫られている。
芸能	・ 舞台で生計を立てられる実演家は全体の数%程度。仕組みとして、観客に見せる場とそれをマネジメントする人材が求められる。
建築設計	・ 県内住宅市場はRC造から木造へのシフトがみられ、本土の大手ハウスメーカーにシェアを奪われる可能性がある。そもそもの建築需要も減っているため、技術開発や市場開拓が課題。
広告	・ 企業が広告費を削り、さらに県外大手や異業種が参入してきているため厳しい状況であり、新しいビジネスモデルの構築が求められる。

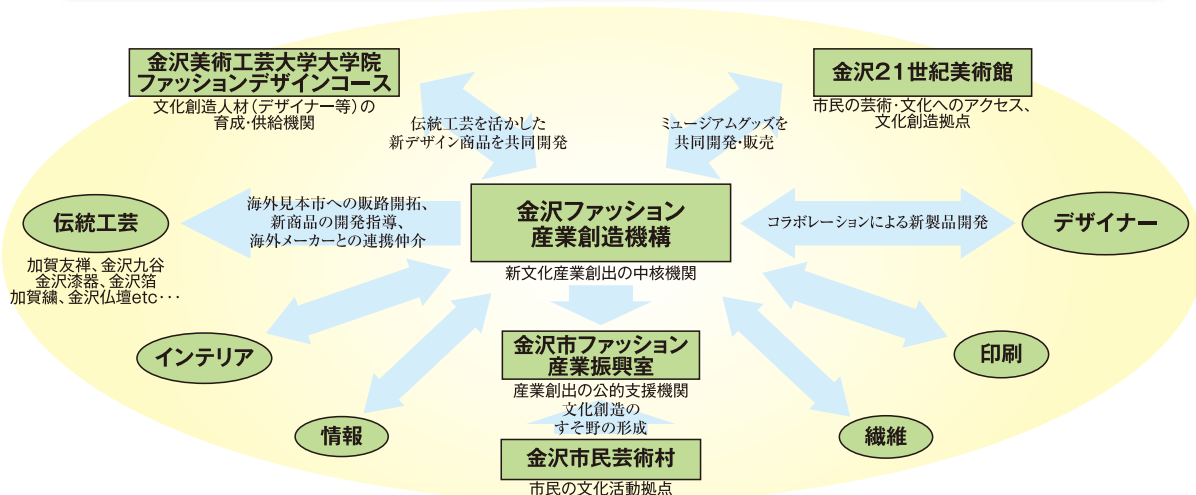
◆金沢市の例

石川県金沢市は、金沢漆器、九谷焼、加賀友禅などの伝統工芸が盛んなところで有名ですが、文化のビジネス化にいち早く取り組んでいます。同市は、2009年に伝統工芸の品格、伝統に革新を重ねた文化創造がユニスコに評価され、クラフト(工芸)分野で「ユニスコ創造都市ネットワーク」に登録認定されました。

持続可能な沖縄観光

(沖縄感性・文化産業の構築)

創造都市・金沢を支えるプラットフォーム



- 〈創造都市・金沢が目指す将来像〉
1. 文化とビジネスをつなぐまち
(文化のビジネス化)
 2. 創造の担い手を育てるまち(人材の育成)
 3. 世界をひきつけるまち(世界への発信)

〈参考)にすべきポイント(一例)〉

ミュージアムグッズ開発では、産業創造機構自ら積極的に支援に動いています。たとえば、デザインを公募する際、デザインが優れ、収益が見込めそうな作品については、デザイナーやメーカーに生産コストを負担する資金がない場合であっても、機構は自ら地元企業に出資を募り、受け皿となる新会社を作つて量産体制を整え、グッズの収益の一部を出資者に還元しています。

〈金沢市プラットフォーム「キーマンの存在」〉

また、金沢市がこうした成果を上げている背景には、優れたキーマンの存在が挙げられます。

◎金沢ファッション産業創造機構(2005年1月設立)(プラットフォーム)

国際観光イベント出展のための支援、金沢21世紀美術館に対するミュージアムグッズの開発指導、海外一流工芸メーカーとの提携仲介などの実績があり、金沢文化をビジネス化する中心的な役割を担う。2010年4月に「金沢クラフトビジネス創造機構」に改編。

◎金沢21世紀美術館(2004年10月開設)

市民の芸術・文化へのアクセス、文化創造拠点。金沢ファッション産業創造機構と連携でミュージアムグッズの開発・販売を行う。

◎金沢美術工芸大学大学院ファッションデザインコース(2005年4月新設)

専門人材の育成・供給機関。国立大学大学院修士課程では初めてのファッション分野のコース。

◎「金沢ファッション産業創造機構」機構長：藤村盛造 氏(2005年4月～現在)

6年間スイスでデザイン修行を積み、帰国後もオフィスや店舗等の空間デザインを手がける。欧州デザイナー関係に人脈がある。金沢美術工芸大学の経営審議会委員でもある。

◎「金沢21世紀美術館」前館長：

養豊 氏(2004年4月～07年3月)

モントリオール美術館、インディアナポリス美術館の東洋部長などを歴任。大阪市立美術館の運営で成功し、全国美術館会議会長も務める。2005年には「セールスマン館長」の手腕を買われて金沢市の助役に抜擢され、就任早々、市の「ファッション産業振興室」を創設した。

◎「金沢美術工芸大学大学院修士課程ファッションデザインコース」専任教授：

永澤陽一 氏(2005年～現在)

パリを始め世界各都市で高く評価される一流ファッションデザイナー。2004年に毎日ファッション大賞受賞。

◆沖縄感性・文化産業を支えるプラットフォームとは

「金沢ファッション産業創造機構」の例にみられるように、文化のビジネス化を目指す場合、プラットフォームが果たす役割は大きいといえます。

これを沖縄にあてはめると、沖縄感性・文化産業を商材として観光客に売り込むとともに、市場と県内関係者をワンストップでつなぐ窓口機能が必要であると考えられます。そして、こうした窓口機能には、観光客の誘客プロモーションなどを行う財団法人沖縄観光コンベンションビューロー等の役割がさらに期待されます。

「街へ」を目指して 街地活性化の取組～

【はじめに】

沖縄市中心市街地活性化基本計画が県内で初めて内閣総理大臣から認定

全国の都市では、これまで、人口増加とモータリゼーションの進展等を背景に、公共公益施設の郊外移転や大規模集客施設の郊外立地等により「まち」は郊外化し、中心市街地の居住人口の減少、中心市街地のコミュニティとしての魅力低下、中心市街地の商業地区が顧客・住民のニーズに十分対応できないことなどにより、中心市街地の衰退が進みつつあります。

しかし、人口減少社会を迎え少子高齢化が急速に進行する現代において、これまでのような拡散型のまちでは、生活者への多様なサービスの低下と都市の維持管理コストの増大等により、快適な生活の維持が困難な状況となります。そのため、これからは「コンパクトでにぎわいあふれるまちづくり」を目指し、「都市機能の市街地集約」や「まちなか居住」、「中心市街地の商業・コミュニティ機能の強化」等を一体的に取り組むことが、持続可能な都市形成に必要な要素と考え、政府は、いわゆる「まちづくり三法」の改正等を行いました。

このような状況のなか、平成22年3月に「中心市街地の活性化に関する法律」（以下「中心市街地活性化法」という。）の規定に基づき沖縄市が策定した「沖縄市中心市街

地活性化基本計画」（以下「沖縄市基本計画」という。）が、全国で100番目、沖縄県内では初めて認定を受けました。

【沖縄市基本計画】

沖縄市活性化のテーマは「コザらしい生活ができるまち／商店街から交流街へ」

沖縄市の中心市街地は、嘉手納基地の門前町として、また、商業機能をはじめ都市機能が集積した沖縄本島中部圏の中核都市として、飛躍的な発展を遂げてきました。戦後、アメリカ文化等の影響を強く受けた国際色豊かなまちなみや、伝統文化と異文化が融合（チャンプルー）された沖縄市独特の「コザ文化」と言われる沖縄市独自の地域資源がまちなかの随所に培われています。

一方、全国の多くの都市と同様に、モータリゼーションの進展、高齢化といった社会情勢の変化、郊外部における市街地化の拡大、さらには近隣市町村への大型商業施設の相次ぐ出店などを背景として、空き店舗の増加、歩行者通行量の減少、交流機能の低下など、かつてのにぎわいを喪失しています。

このような状況の中、沖縄市では行政と民間が一体となつて中心市街地の活性化に取り組むため、中心市街地活性化法に基づき民間事業者を中心に組織された「沖縄市中心市街地活性化協議会」（以下「沖縄市設活協議会」という。）を平成20年11月に設

置し、沖縄市中心市街地の現状分析や市民ニーズの把握・分析、これまでの取組の検証を行い、「コザらしい生活ができるまち／商店街から交流街へ」の活性化テーマの下、「コザ文化の継承と発展によるにぎわいづくり」と「住む人目線での良好な生活空間の創出」を2つの基本方針とした「沖縄市基本計画」を策定し、平成22年4月から平成27年3月までの5年間で、官民合わせて約50事業を実施する予定で、既に成果を上げている事業もあります。

（主な事業）

- ・ 沖縄市中心市街地循環コミュニティバス事業
- ・ 山里第二地区市街地再開発事業
- ・ コリンザ再生事業
- ・ 音の回廊整備事業
- ・ 安慶田地区土地区画整理事業

【経済産業部の支援状況】

沖縄市の中心市街地活性化に向けて、各種補助事業を通じて支援

沖縄総合事務局経済産業部及び経済産業省では、沖縄市の取組に対し以下のような支援を行ってきました。

1. 「新・がんばる商店街77選」

全国の商店街のうち、高齢者・子育て支援や地域の魅力を発信することにより、地

「商店街から交流」 ～沖縄市中心市街～

域から信頼される商店街を紹介するため、平成21年6月に「新・がんばる商店街77選」に一番街商店街と銀天街商店街を選定・表彰を行い全国に両商店街の取組を紹介しました。

○沖縄市一番街商店街

「商店街交流ひろば コザBOX」を設置、トイレ休憩スペースの整備と交流拠点の整備により、地域との協働でコミュニティの回復を



一番街商店街

図っています。

最近では、コザBOX周辺に設置された休憩スペースで多くの方がユンタク（談笑）する姿がよく見られます。

○沖縄市銀天街商店街

「食とアートのまちづくり」を目指し、地域の台所としての機能に加え、若者やアーティストによるユニークな活性化に取り組み、独自の商店街再生を図っています。

毎月第3土曜日には、銀天街まつりが開催され、多くの人でにぎわいます。また、銀天街のマスコットの「天ぶらのぷーらくん」も話題となっています。



銀天街商店街

2. 中心市街地商業等活性化支援事業

中心市街地活性化法の普及・啓発を図り、沖縄市における活性化協議会設立や基本計画策定を支援するために、平成19年度から

平成21年度の3年連続でシンポジウムを開催しました。また、平成22年度においては、沖縄市基本計画の着実な目標達成を支援する目的で、地域連携や事業連携を題材とした「地域をつなぐ人の講座」を開催しました。

3. 戦略的中心市街地商業等活性化支援事業

基本計画に基づき、地域の自治体、商店街、商業者など幅広い関係者と連携を図りながら実施する商業施設又は商業基盤施設整備事業及び商業等の活性化に寄与する事業に対し支援を行うため、平成22年度、沖縄市から3事業を採択し支援しました。

○胡屋地区リノベーション事業

（NPO法人コザまち社中）

長期空き店舗物件を改修し、公共的な施設やチャレンジショップを設置・運営することで商店街の活性化及びまちのイメージアップを図り、にぎわいを創出するための事業です。

現在では、「コザゲートアパートメント」と「コージセントラル」の2つの商業施設がオープンし、アクセサリ、衣類、家具、日用雑貨の販売を行うチャレンジショップが営業しています。

本事業は、継続事業として平成23年度も採択されました。



プロムナードコンサート事業

○プロムナードコンサート事業
(沖縄商工会議所)
中心市街地内において、まちなかコンサートを開催するとともに、各個店の

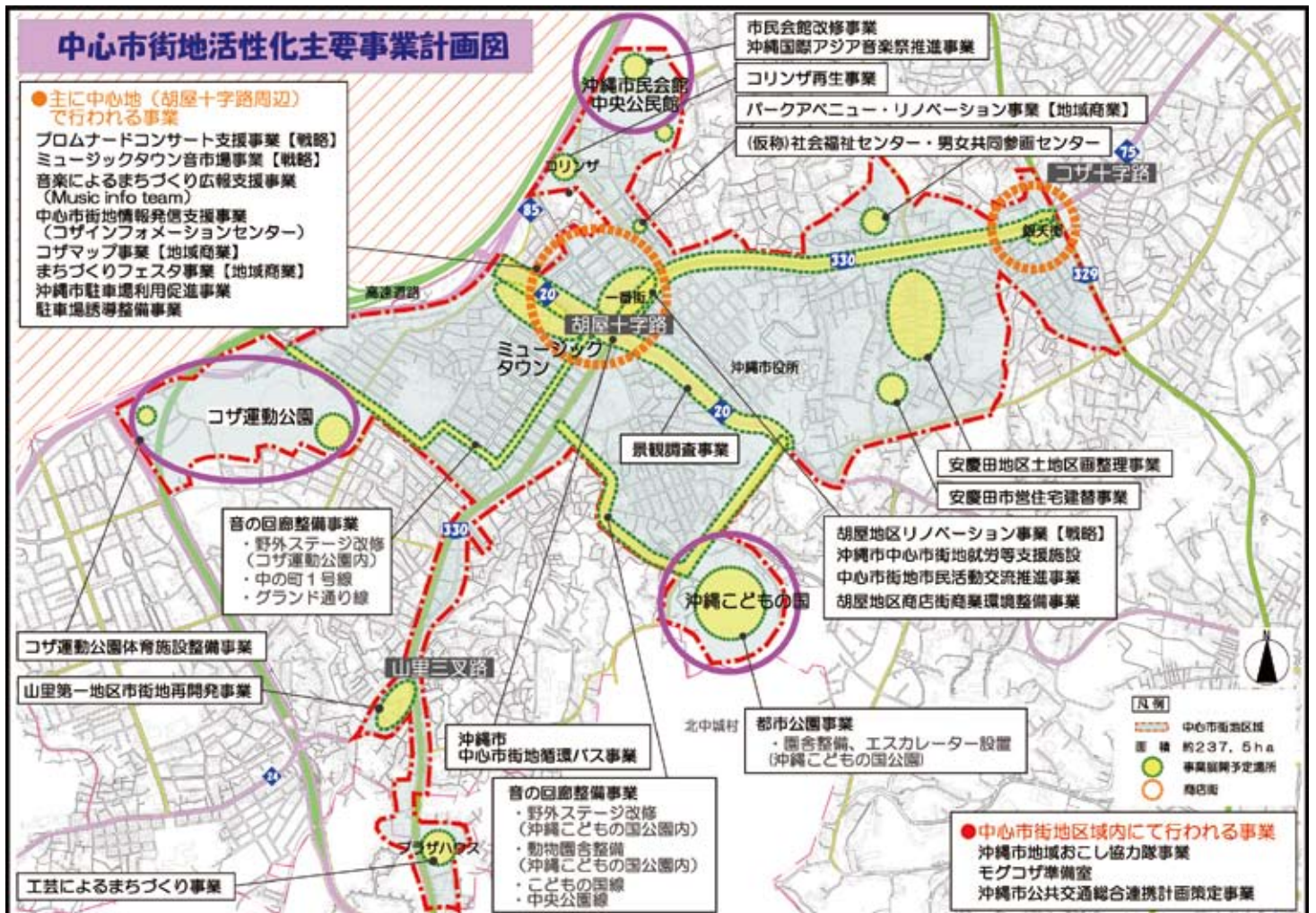


胡屋地区リノベーション事業



コザミュージックタウン

逸品を開発する一店逸品事業を展開し商店街の活性化、商店街全体の魅力向上、にぎわいの創出、音楽を活用した人材育成及び音楽文化の振興を図るための事業です。
○ミュージックタウン音市場事業
(株式会社ミュージックウェーブ)
県外修学旅行生を対象に沖縄歴史文化の解説と音楽の生演奏を組み合わせたエンターテインメントショー及びまちなか回遊プログラムを実施し、にぎわいの創出と音楽によるまちなづくりを図るための事業です。



4. 地域商業活性化事業

（平成22年度補正予算事業）

緊急経済対策の二環として、地域経済の活性化のため、商店街振興組合等が実施する来街者の増加を図るために実施する事業に対し支援を行うことを目的として、沖縄市での取組に対しても支援を実施しました。

○コザマップ事業（コザ商店街連合会）

携帯用端末用のアプリケーションを活用し、商店街の集客力向上を図る事業です。コザBOXなどで、来街者に対して、携帯用端末の無料貸出を行い、胡屋地区のお店やイベントに関する情報を発信しています。



コザマップフライヤー

○パークアベニュー・リノベーション事業

（NPO法人コザまち社中）

空き店舗を活用した商店街情報の発信や子育て・就労支援を行う事業です。

現在では、子育て支援施設及び就労支援施設（ジブカフェ）を設置し、小さな子どもの一時的預かりを行うなど来街者が安心して買い物やイベントを楽しめるように取り組んでいます。

【おわりに】

沖縄市胡屋地区の一番街商店街及びサンシティ商店街では「一番街商店街・サンシティ商店街等活性化計画」を策定し、老朽化したアーケードの改修を柱とした「胡屋地区商店街商業環境整備事業」の実施に向けて、沖縄市基本計画の変更認定及び平成23年度戦略的中心市街地商業等活性化支援事業の採択を目標に調整を進めています。

このように沖縄市では地域が主体となって活性化に向けた新たな取組が活発に議論されおり、沖縄総合事務局経済産業部では、行政機関、沖縄市中活協議会、商店街、商業者など幅広い関係者と連携を図りながら、このような取組への支援や情報発信により、引き続き、沖縄市基本計画の着実な目標達成を支援していきます。

これから夏本番を迎え、沖縄市ではキジムナーフェスタ、ピースフルブロックフェスティバル、沖縄全島エイサーまつりなど様々なイ

ベントが計画されており、多くの方が沖縄市を訪れると思います。その際にはちよつと足を伸ばして、商店街から交流街に変わり始めた沖縄市の商店街を散策することをお奨めします。

最後に、沖縄総合事務局経済産業部では平成23年2月に「沖縄感性・文化産業報告書」を作成し、本報告書の内容を踏まえつつ、文化による今後の沖縄振興と沖縄感性・文化産業の可能性を広くアピールすることを目的として7月16日（土）に沖縄本島中部圏における文化・芸能の情報発信の中心であるミュージックタウン音市場において「第2回 感性・文化産業シンポジウム〜センスカルチャーでヒヤミカチ〜」を開催しますので、多くの方が御参加下さいますようお願いいたします。

（経済産業部商務通商課）



エイサー

総務部

移動相談会とは？

総務部公正取引室では、下請事業者のみならず、大規模小売業者と取引している納入業者、荷主と取引している物流事業者等の中小事業者からの要望に応じ、当該中小事業者が所在する地域に当室職員が出張し、独占禁止法上の優越的地位の濫用規制及び下請法について基本的な内容を分かりやすく説明するとともに相談受付等を行うための相談会を開催しています。

1 対象

下請事業者を始めとする中小事業者（原則3社以上）の代表者又は従業員（所属する地域、団体等の定例的な会合の場合での開催も可能）です。

2 開催地等

開催地及び会場は、申込みを行う中小事業者の要望を踏まえて決定します。

3 申込方法

相談会の開催を希望する中小事業者（原則3社以上）は、代表の中小事業者が参加人数分を取りまとめ、「公取委による中小事業者のための移動相談会」申込用紙を御記入の上、ファクシミリ又は電子メールによりお申込みください。なお、申込用紙は、公正取引委員会のホームページ（<http://www.jftc.go.jp/>）からダウンロードしてください。

4 その他

- ・実施方法は相談に応じます。
- ・費用はかかりません。
- ・秘密は厳守します。

本件に対するお問い合わせ・申込み先

◆総務部公正取引室

電話：098-866-0049 Fax：098-860-1110

メールアドレス：soudankai@jftc.go.jp

（メールを送られる場合は、念のためお電話いただくと幸いです。）

ホームページ：<http://www.jftc.go.jp/>

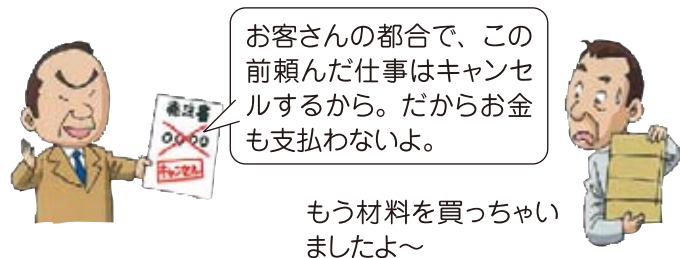
POINT

下請いじめや納入業者いじめなどのトラブルで困っている中小事業者に対し、独占禁止法の優越的地位の濫用規制や下請法について基本的な内容を分かりやすく説明するために、皆様の地域・職場にお伺いします。

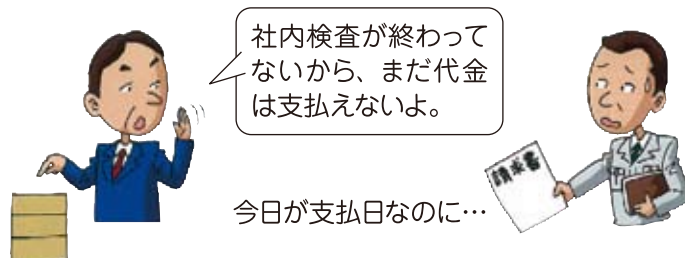
お気軽に
ご相談ください！
公取委による中小事業者のための移動相談会

どんなトラブルがあるのか？

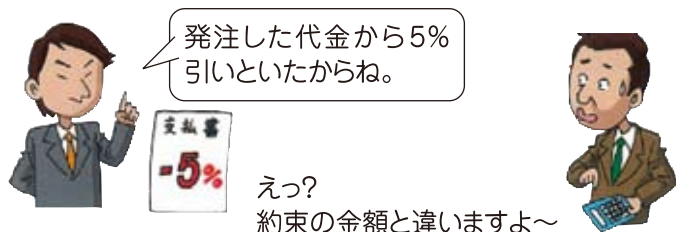
発注を取り消された！



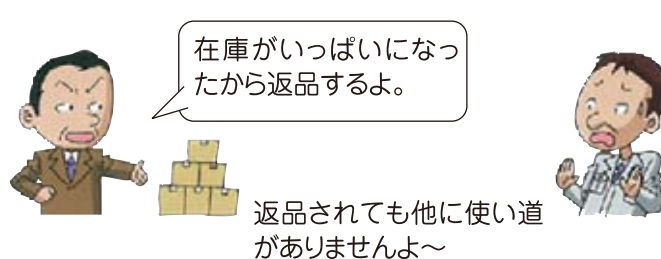
代金を支払日に払ってもらえなかった！



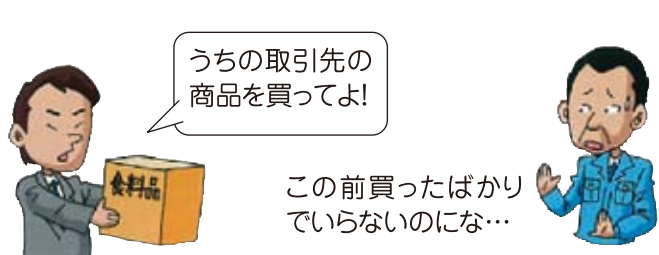
注文を受けた後に値引きされた！



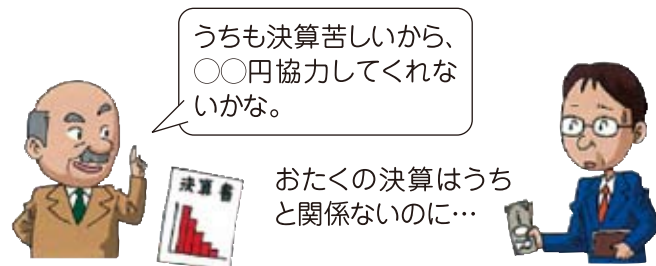
納品したものを返品された！



指定された商品やサービスを押し売りされた！



協賛金を支払わされた！



(注) その他の事例につきましても、公正取引委員会のホームページ (<http://www.jftc.go.jp/>) でご確認いただけます。

優越的地位の濫用とは？

取引上優越的地位にある事業者が、取引先に対して正常な商慣習に照らして不当に不利益を与える行為を禁じています。

例えば、発注元の一方的な都合による押し付け販売、返品、従業員の派遣要請、協賛金の負担要請などの不当な行為がこれに該当します。

下請法とは？

下請代金の支払遅延や減額など、下請事業者に対する親事業者の不当な行為を規制しています。

製造業からサービス業まで、幅広い事業分野における親事業者の禁止行為を明確に定め、違反があった場合は簡易・迅速に改善を求め、下請事業者の利益を守る法律となっています。

財務部

主要項目の動向

① 個人消費

前回との比較



緩やかな持ち直しの動きがみられたが、東日本大震災の影響により、一部に弱い動きもみられ、おおむね横ばいとなっている

個人消費をみると、東日本大震災前の状況は、大型小売店販売額は、気温低下により、冬物衣料品に動きがみられたことなどから持ち直しの動きがみられる。百貨店は、主力の衣料品に動きがみられたほか、催事効果もあり増加している。スーパーは、主力の食料品や冬物衣料に需要増加がみられたことから増加している。コンビニエンス

主要項目の動向

② 観光

前回との比較



弱含みに転じ、東日本大震災の影響により足下で厳しさがみられる

入域観光客数は、提供座席数の減少などから弱含みで推移し、足下では東日本大震災の影響により、国内客及び外国客のキャンセルが生じたことや、旅行マインズの低下などから前年を大幅に下回った。
ホテル客室稼働率及び客室単価は低下傾向が続いている。
このように、観光は弱含みに転じ、東日本大震災の影響により足下で厳しさがみられる。

主要項目の動向

③ 雇用情勢

前回との比較



厳しい状況が続いているが、東日本大震災の影響も懸念される

一般職業紹介状況を見ると、新規求人数は医療・福祉などで動きがみられるものの、新規求職者数は大幅な増加を続けており、有効求人倍率（季節調整値）は低水準で推移している。足下では、東日本大震災の影響により宿泊業を中心に求人の取消しの動きがみられるなど、求人の手控え感が出てきている。
このように、雇用情勢は依然として厳しい状況が続いている

POINT

個人消費は、緩やかな持ち直しの動きがみられたが、東日本大震災の影響により、一部に弱い動きもみられ、おおむね横ばいとなっている。
観光は、入域観光客数が、提供座席数の減少などから弱含みで推移し、足下では東日本大震災の影響により国内客及び外国客のキャンセルが生じたことなどから前年を大幅に下回った。
雇用情勢は厳しい状況が続いており、公共事業は前年を下回っているものの、22年度の設備投資は前年度を上回る見込みである。
先行きに関しては、東日本大震災の影響から一部で弱い動きが続くと見込まれるが、サプライチェーンの立て直しなどに伴い国内景気が回復することにより、持ち直していくことが期待される。ただし、原油価格上昇の影響や雇用情勢の動向等に注視していく必要がある。

管内経済情勢報告(平成23年6月)

管内経済は、持ち直しの動きがみられたが、東日本大震災の影響により、足下で弱い動きがみられる

総括判断

23年1-3月期(今回)

持ち直しの動きがみられたが、東日本大震災の影響により、足下で弱い動きがみられる

前回との比較



22年10-12月期(前回)

厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている

その他の項目の動向

■住宅建設

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、持家、分譲などで前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

■設備投資

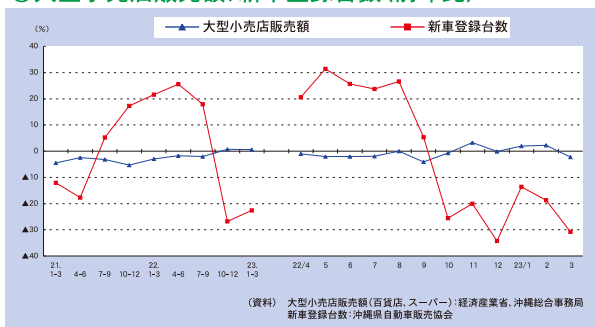
法人企業景気予測調査(23年1-3月期)でみると、全産業では前年度を53.8%上回る見込み(除く、石油・石炭、電気・ガス・水道では14.4%上回る見込み)となっている。

23年度は、全産業では前年度を0.9%下回る見通しとなっている。

■公共事業

公共事業の動向を公共工事前払金保証請負額(累計)でみると、前年を下回っている。

◎大型小売店販売額、新車登録台数(前年比)

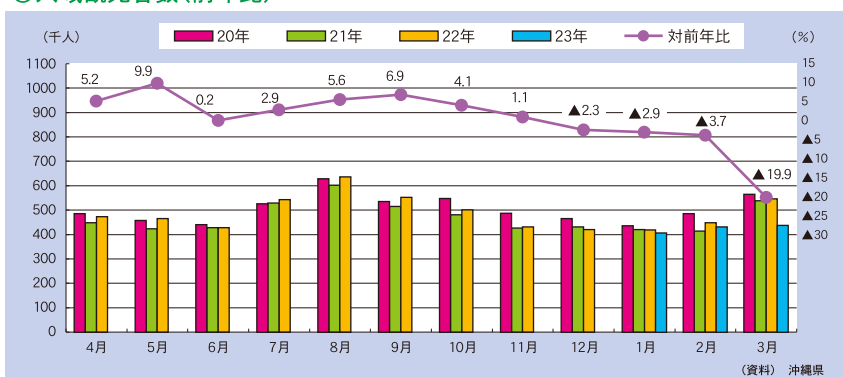


このように、個人消費は、緩やかな持ち直しの動きがみられたが、東日本大震災の影響により、一部に弱い動きもみられ、おおむね横ばいとなっている。

東日本大震災後は、防災・生活関連の一部商品で需要が高まっているものの、新車販売は、供給制約に対する影響などから弱い動きとなっており、3月は前年を大幅に下回っている。

トアは、たばこ価格改定やプロ野球キャンプの効果から増加している。新車販売は、エコカー補助金終了に伴う減少幅が縮小し持ち直しの動きがみられている。中古車販売は、販売促進効果もあり引き続き増加している。家電販売は、エコポイント制度終了に伴う駆け込み需要がみられている。

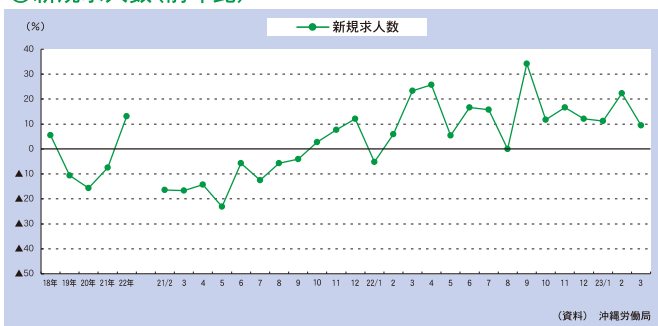
◎入域観光客数(前年比)



◎有効求人倍率及び完全失業率



◎新規求人数(前年比)



が、東日本大震災の影響も懸念される。

■企業の景況感 法人企業景況予測調査(23年1～3月期)でみると、製造業では「下降」とする企業が減少していることから、「上昇」超となっている。非製造業では、情報通信、運輸・郵便で「上昇」とする企業が増加していることなどから「上昇」超に転じている。

この結果、全産業では、「上昇」超に転じている。

しかしながら、東日本大震災の影響により、観光関連を中心に景況感は悪化しているとみられる。

※法人企業景況予測調査(23年1～3月期)の結果については、東日本大震災の影響は反映されていない。

■企業収益 法人企業景況予測調査(23年1～3月期)でみると、22年度下期は、全産業で8.9%の減益見込みとなっている。

22年度通期は、全産業で2.1%の増益見込みとなっている。

23年度通期は、全産業で1.0%の増益見込みとなっている。

なお、22年度は増益見込みとなっているが、東日本大震災の影響により、下方修正する動きもみられる。

■生産活動 製造業の生産活動は、官公需が減少していることから、金属製品では、棒鋼の出荷は前年を下回っており、窯業・土石では、生コンの出荷は前年を下回っている。食料品では、酒類の一部に動きがみられるものの、全体では低調となっている。

このように、生産活動は弱含みで推移している。

総務部

沖縄振興功績者表彰

POINT

平成23年5月16日(月)に、「沖縄振興功績者表彰」の表彰式を行い、
沖縄の振興に功績があつた四者が表彰されました。

沖縄総合事務局では、経済の振興及び社会の開発など沖縄の振興に貢献し、顕著な功績又は功労があつた団体、企業又は個人を広く対象として表彰することにより、沖縄における創業や事業展開等の意欲を喚起し、今後の沖縄の一層の振興発展に資することを目的として、「沖縄総合事務局沖縄振興功績者表彰」を平成16年度から実施しており、今年度で8回目を迎えました。

竹澤局長は、表彰を受けられた方々へのあいさつの中で「皆様方のこれまでの沖縄の振興への多大な御尽力に敬意を表しますとともに、今後とも、沖縄の振興に一層貢献していただき、益々のご発展と更なる活躍を期待しております。」と述べました。

また、記念撮影には琉神マブ



前列左から／川満長英氏、マブヤープロジェクト 島中敏成代表、(社)久米島町観光協会 大田治雄会長、(有)海の種 金城浩二代表取締役
後列左から／名城総務課長、高柳農林水産部長、川崎次長、大城選考委員、琉神マブヤー、竹澤局長、砂川選考委員、瀧辺選考委員、
田中総務部長、山内経済産業部長

域ヒーロー「琉神マブヤー」による沖縄発のキャラクタービジ

★マブヤープロジェクト

シーサーをモチーフとした地域ヒーロー「琉神マブヤー」による沖縄発のキャラクタービジ

★川満 長英氏

今回表彰を受けられたのは、以下の方々です。

ヤーも駆け付け、表彰を受けられた方々と、竹澤局長、琉神マブヤーが並んで撮影するなど、本表彰式は和やかな雰囲気で行われました。



局長挨拶



表彰式後に行われた懇談会の模様

★社団法人 久米島町観光協会

全国初の先進的な取組として、行政やホテル、観光施設、病院等の地域事業者の連携により「食物アレルギー対応旅行」を商品化。離島振興のモデルともいえる本取組によって、地域の活性化に大きく貢献。

★有限会社 海の種

過去7年間で約3万本以上のサンゴの移植を実施し、その大部分を生育させ、沖縄の観光業及び漁業の活性化のみならず、地域活性化にも大きく貢献。

財務部

第26回財務行政モニター会議を開催

Zaimubu

財務部では、5月31日に「第26回財務行政モニター会議」を開催しました。

この会議は、財務省の重要施策を各界各層から選定した財務行政モニターに情報提供を行い、施策の浸透を図るとともに、施策に対する意見や反響等を聴取して適切な運営に資することなどを目的に、毎年開催しています。

今回は、「地方が財務局に求めること、期待する役割等」として、①財務部に求める地域連携のあり方、②東日本大震災への対応についての2つをテーマに、財務省・金融庁関連の各業務における地域連携の状況と、大震災に対する財務部の取組みについて説明し、それに関する意見等を伺いました。

5名の財務行政モニターの方々からは、地域連携のあり方について、「行政財産の壁面を公共広告に利用」、「各省庁にまたがる事業が実施される基地返還跡地利用において、沖縄総合事務局の総合力の

発揮を期待」などの意見が出されました。

また、東日本大震災への対応については、「沖縄総合事務局の震災対策のシミュレーションが必要」、「震災の復興では、被災した子供達の教育に重点を置いた施策を実施すべき」、「震災対応情報の積極的な提供が必要」など、様々な意見・提言等を頂き、非常に有意義な会議とな

りました。

財務行政モニターから頂きました貴重な意見・提言等については、財務本省で取りまとめのうえ、沖縄総合事務局を含む全国の財務局に還元することにより、今後の行政運営の参考にしていくことにしています。



開発建設部

「まるごと沖縄クリーンビーチ2011」オープニングセレモニーを開催

Kaikenbu

沖縄クリーンコーストネットワーク(事務局:第十一管区海上保安本部環境防災課、沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課、環境省那覇自然環境事務所、沖縄県環境生活部環境整備課)は、6月1日(水)から7月31日(日)までの期間で「まるごと沖縄クリーンビーチ2011」キャンペーンを開催しています。

6月4日(土)には、豊崎美らSUNビーチでオープニングセレモニーを行いました。当日は、天気にも恵まれ、昨年を上回る660名の方が参加し、清掃活動を行いました。

キャンペーン期間中は県内各地のビーチ等で清掃活動を行っており、清掃活動以外にも、沖縄美ら海水族館や本島内の大型量販店等で海洋環境パネル展を開催しています。



オープニングセレモニーの様子



海岸清掃の様子

清掃活動の詳細な情報については、沖縄クリーンコーストネットワークブログ(<http://blog.canpan.info/occn/>)にてご確認ください。

農林水産部

ファーマーズマーケット（農産物直売所）が 相次いでオープンしました

Nourinsuisan

4月9日に石垣市においてファーマーズマーケットやえやま「ゆらていく市場」が、4月23日には読谷村において読谷ファーマーズマーケット「ゆんた市場」がオープンしました。両施設は、国の支援を受けて、JAおきなわが整備しました。

ファーマーズマーケット（農産物直売所）では、生産者自ら農産物を持ち込み、自ら価格を設定し、店頭で販売されます。また、POSシステムにより、販売情報が1日に数回、生産者に提供され、販売状況により新鮮な農産物が補充されます。

こうしたファーマーズマーケットでは、消費者にとっては地域の新鮮な農産物を購入することができるとともに、生産者が売り場で農産物を並べながら、農産物の特徴や調理方法を消費者に直接伝えることができるなど生産者と消費者の「顔が見える」

交流が深まることにより、生産者の意欲を高めることに繋がります。さらに、最近では新たな観光スポットとして注目されており、ファーマーズマーケットは地域の特産物をPRする場にもなっています。

施設の名称（愛称）は、公募により決定されました。それぞれの愛称に込められた願いとともに地域の独自性を生かしたファーマーズマーケットに発展することが期待されます。

ゆらていく市場（石垣市）



愛称（ゆらていく）の由来：よってらっしゃい



ゆらていく市場の内部の様子

ゆんた市場（読谷村）



愛称（ゆんた）の由来：ゆんたく（おしゃべり）
ゆんたんだ（読谷山）



ゆんた市場の内部の様子

農林水産部

六次産業化法に基づく総合化事業計画の 第1回認定証交付式を行いました

Nourinsuisan

「六次産業化法に基づく総合化事業計画の第1回認定証交付式」を、6月3日沖縄総合事務局において行いました。

今回の認定は、平成23年3月1日に全面施行された「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」（六次産業化法）に基づき申請された「総合化事業計画」について、本法施行後初めて6件の認定を行いました。

本認定を受けると、新スーパーS資金（短期運転資金）等の融資対象となるほか、新商品の開発や販路拡大に対する補助や六次産業化プランナーによる事業計画実施のアドバイス等の支援を受けることができます。

なお、沖縄総合事務局では、引き続き六次産業化法に基づく事業計画の申請を受け付けています。興味のある

方は、下記の6次産業化総合相談窓口までお問い合わせ下さい。

【認定された農林漁業者】

農業生産法人
有限会社 大嶺ファーム

農業生産法人
有限会社 南の風

農業生産法人
株式会社 あいあいファーム

農業生産法人
株式会社 クックソニア

農業生産法人
株式会社 みどりファーム

農業生産法人
有限会社 やえやまファーム

6次産業化総合相談窓口

沖縄総合事務局
農林水産部食品・環境課
勢理客、来間、呉屋
那覇市おもろまち2-1-1
那覇第2地方合同庁舎2号館8階

TEL: 098-866-1673



経済産業部 「第2回沖縄中小企業海外展開支援本部会議」を開催

Keizaisanyoubu

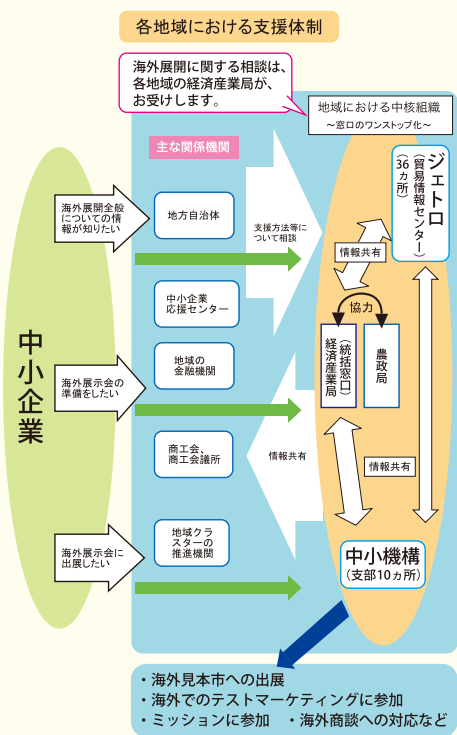
当局においては、中小企業海外展開支援会議(議長:経済産業大臣 海江田万里)の設置を受け、平成22年10月に沖縄中小企業海外展開支援本部(本部長:沖縄総合事務局経済産業部長 山内徹)を設置し、管内の中小企業の海外展開支援に取り組んでいるところで、平成23年5月12日に、第2回沖縄中小企業海外展開支援本部会議を開催しました。

現在、アジアをはじめとする新興市場は、中間所得者層の拡大によって著しい成長を見せており、中小企業の海外展開に対するニーズが高まっていますが、大企業と比べると中小企業の輸出の割合は低い状況です。

今回開催した会議においては、構成メンバーである各支援機関の取り組みの他、現状として、東日本大震災の影響等についても情報共有を行いました。

また、各機関が連携して中小企業の海外展開を更に促進していくために、①支

援機関間の連携強化及び情報発信、②「沖縄ブランド」構築への支援及び知的財産の保護、③商社機能の強化及び中小企業の輸出ノウハウのスキルアップへの支援等を内容とする「沖縄中小企業海外展開支援行動計画」を策定しました。



経済産業部 「平成23年度第1回沖縄地域知的財産戦略本部会議」を開催

Keizaisanyoubu

平成23年5月30日、那覇第二地方合同庁舎にて、沖縄地域知的財産戦略本部会議を開催しました。

この会議は、地域における知的財産に関する取り組みとして、関係機関との連携及び情報共有を進め、中小企業、大学等への知的財産権制度の普及等を一層促進するために、開催しているものです。

今年度は、平成18年3月に策定した「沖縄地域知的財産推進計画」を「新成長戦略」及び「沖縄地域経済産業ビジョン-中間報告」等の提言を踏まえて、見直すこととし、(1)沖縄感性・文化産業振興への支援、(2)コンテンツや伝統文化等の発信によるブランド力向上への支援、(3)農林水産物等の地域資源のブランド化への支援、(4)中小企業の海外事業展開へ

の支援といった新たな方針を本計画に反映していく方向性について、審議し、承認されました。

この方向性を踏まえ、同本部会議は、新たな「沖縄地域知的財産推進計画」の今年12月の策定・公表に向け、作業を進めていく予定です。



お問い合わせ先

沖縄総合事務局 経済産業部
地域経済課 特許室 與那嶺、鯉沼

TEL: 098-866-1730
FAX: 098-860-1735

運輸部

平成23年度陸運及び観光関係功労者沖縄総合事務局長表彰式

Unyubu

平成23年5月16日(月)、沖縄都ホテル虹雲の間において、関係者多数の出席のもと、平成23年度陸運及び観光関係功労者沖縄総合事務局長表彰式が行われました。

本表彰は、県内において自動車運送事業、自動車貸渡事業、自動車整備事業及び自動車販売事業の陸運関係事業並びに観光関係事業に従事する役員、従業員で当該事業に対する功績が顕著であった方、また、永年にわたり業務に精励し、勤務成績が優秀な方に対し毎年表彰を行うものです。

今年度の受賞者は、事業役員9名、団体従業員3名、事業従業員5名、運転者7名、整備士等3名の計27名の方で、沖縄総合事務局長から受賞者1人1人に対し、永年の功績に対する表彰状が授与されました。

表彰後、合資会社共和バス無限責任社員の新里哲氏は「長年にわたる業務の中で、日々の苦難はあったが、事業の公共的、社会的使命とその責務の重大さを顧みした場合、今日までこの業務に専念できたことを誇りと感じている。受賞は多くの人の励みとなり、大きな希望を与えるものと確信している。」と喜びを語られました。



運輸部

平成23年度陸運関係功労者陸運事務所長表彰を開催

Unyubu

6月16日(木)沖縄総合事務局陸運事務所において「平成23年度陸運関係功労者表彰」の表彰式を行いました。

本表彰式は、県内において自動車関係事業(バス・タクシー・トラック事業、貸渡事業、販売事業、整備事業等)に従事する役員、従業員等で当該事業に対する功績が顕著であった者及び永年にわたり業務に精励し勤務成績が優秀な者に対し毎年行われております。

今回の表彰は、事業者団体役員1名、事業役員4名、従業員8名、自動車運転者13名、自動車整備士等7名の計33名と自動車関係事業のうち使用済み自動車を適正に処理する等環境対策に積極的に取り組んだ優良事業場1社に対して授与されました。

宮平所長は、被表彰者へのあいさつの中で「多年に亘り陸運関係事業に精励されとともに、それぞれの分野で長年培ってきた豊富な知識と技能を発揮して安全

で質の高いサービスを提供し、今後とも業界のレベルアップを図っていただくよう期待したい」と激励し、表彰状を授与しました。

表彰後、被表彰者を代表して事業役員で受賞した宇根電機代表者の宇根良行氏は「本日の受賞を励みに、尚一層研鑽を重ね業界の良き指導者として精進するとともに、社会の信頼に応えられるよう業務に精励し、事業の発展に尽力していきたい」と抱負を述べました。



表彰状の授与



優良事業場現地調査



バス事業関係被表彰者

第19回 沖縄振興審議会の開催について



伊藤会長と枝野大臣

平成23年5月13日、「第19回沖縄振興審議会」が東京で開催されました。

会議の冒頭、審議会の会長互選が行われ、東京大学大学院の伊藤元重教授が再選出されました。

次に、審議会の下に設置された専門委員会において昨年9月の中間報告取りまとめ以降に行われている調査審議の状況について、座長の嘉数啓名桜大学理事長から報告がありました。



審議の様子

続いて、仲井眞沖縄県知事から、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の素案や、新たな沖縄振興のための制度提言についての説明がなされた後、自由討議が行われました。

会議の締めくくりに当たり、枝野沖縄担当大臣から、「東日本大震災により、沖縄振興にも影響が出るのではと心配される向きもあるが、アジアに開かれた地理的条件や、若い人口構成などの特性を生かしつつ、新たな振興策を強力に進めてまいりたい」旨の総括的な挨拶がなされました。

『かりゆしウェア』の普及・促進



内閣府沖縄担当部局では、例年より1か月前倒しで始まったクールビズ期間に合わせて、霞が関の全省庁に「かりゆしウェア」の共同購入や展示販売会を案内し、職員による積極的な着用を呼びかけるなど、「かりゆしウェア」の普及・促進に努めています。

このような中、5月13日、仲井眞沖縄県知事とミス沖縄の町田亜希さんが枝野沖縄担当大臣を訪問し、「かりゆしウェア」の贈呈を行いました。枝野大臣は、「今夏のクールビズに『かりゆしウェア』は最適であり、是非全国に広めたい」とお礼の言葉を述べました。

なかゆくい

ご存知ですか!? ちゅら島沖縄観光タクシー

【運輸部陸上交通課】



◎「ちゅら島沖縄観光タクシー」とは

「ちゅら島沖縄観光タクシー（正式名称：沖縄観光タクシー乗務員資格認定制度）」とは、研修や試験を経て、沖縄に関する豊かな観光知識を有するとともに、接客マナーに優れた観光ガイド専門家として（財）沖縄観光コンベンションビューローの認定を受けた「タクシー乗務員」のことで、平成18年度より制度がスタートし、平成23年4月現在、445名の認定者が活躍されています。



◎観光タクシーのメリット

●より密度の濃い旅ができる

沖縄のことを知り尽くした乗務員さんが観光ガイドをしてくれるため、観光地の説明はもちろん、ガイドブックには載っていない隠れた名所や飲食店の情報を得られるなど、より密度の濃い思い出に残る旅ができます。

●効率的に旅ができる

バスや電車のような乗り換えが無く、駐車場の確保や交通情報などを気にする必要がないので、目的地へ効率よく行けます。また、天候不良等のため急遽行き先を変えたり、寄り道をする等の臨機応変な対応も可能です。

●安心・安全

運転のプロの乗務員さんのため、安心して目的地まで行けます。飲酒をされる方も運転を気にしないで良いので安心して飲むことができます。



資格には3つのランクがあります。

Platinum
Ribbon

Gold
Ribbon

Blue
Ribbon

プラチナリボン

ゴールドリボン取得後、6年以上の乗務経験があり、運転技能、接客マナー、観光知識などあらゆる面に優れている乗務員です。（2013年以降認定予定）

〔認定ステッカー〕



ゴールドリボン

沖縄に関する豊富な知識を有し、接客マナーにも優れた観光ガイドです。お客様の要望に応じて行程プランをセッティングすることもできます。



ブルーリボン

沖縄の歴史、文化、観光及び娯楽など、様々な情報を提供してくれます。礼儀正しく運転技能に優れた安心・安全な乗務員です。



※資格保有者のタクシー車両には、運転席側と助手席側の2ヶ所に上記ステッカーが貼られています。

⑤ 認定証交付式



見事試験に合格し、ブルーリボン、ゴールドリボンに認定された方々へ認定証を交付します。試験官の方々から試験講評等を頂きます。

「ちゅら島沖縄観光タクシー」に認定されるには、研修を受講し、試験をクリアしなければなりません。見事、試験に合格した乗務員は、観光客の皆様には質の高いサービスを提供します。

① 座学研修



まず試験を受ける前に研修を受講しなければいけません。ブルーリボン受験者、ゴールドリボン受験者ともに、沖縄の歴史・文化・地理・観光・経済・接遇の6つの分野を熱心に勉強します。

④ 実技試験



ゴールドリボン受験者で、筆記試験を合格した方は、実技試験に挑みます。スクリーンに映し出された観光地を観光客のモデルに説明します。知識だけでなく、接客応対の技術も審査対象となり、4人の試験官による厳しい審査が行われます。

③ 筆記試験



研修終了後、いよいよ試験に臨みます。ブルーリボンの試験問題は沖縄に関する幅広い知識が要求される問題で、選択問題をはじめ、記述問題などもあります。ゴールドリボンは更に難易度の高い問題が出題されます。

② 実地研修



ゴールドリボン受験者は、首里城や玉陵などの世界遺産を巡る実地研修も行います。実践的な研修により、お客様へのガイド方法を身につけます。

「ちゅら島沖縄観光タクシー」への道

筆記試験出題例(平成22年度ブルーリボン)

下記の設問について、○・×で答えて下さい。

1. 1879年、廃藩置県により沖縄県が設置され、初代県令(県知事)となったのは、尾崎三郎である。
2. 沖縄の伝統的な屋敷の構造で、門の内側のついたてのことを「ヒンプン」という。
3. 沖縄県の面積は、全国土面積の0.6%である。
4. ジュゴン(ジュゴン)は国の特別天然記念物に指定されている保護動物である。
5. 観光客も多く利用する沖縄都市モノレール「ゆいレール」の駅数は15である。

図1: 沖縄県地図(比例尺1:100,000) 2. 3. 4. 5.

観光客の方々にはもとより、沖縄県内在住の方も是非「ちゅら島沖縄観光タクシー」を利用して見て下さい。今まで知らなかった沖縄の魅力を再発見出来るはずです。

※写真等協力: 財団法人沖縄観光コンベンションビューロー



森と湖で心身のリフレッシュを!

.....【開発建設部流域調整課】.....

毎日暑い日が続いていますが皆様いかがお過ごしでしょうか?

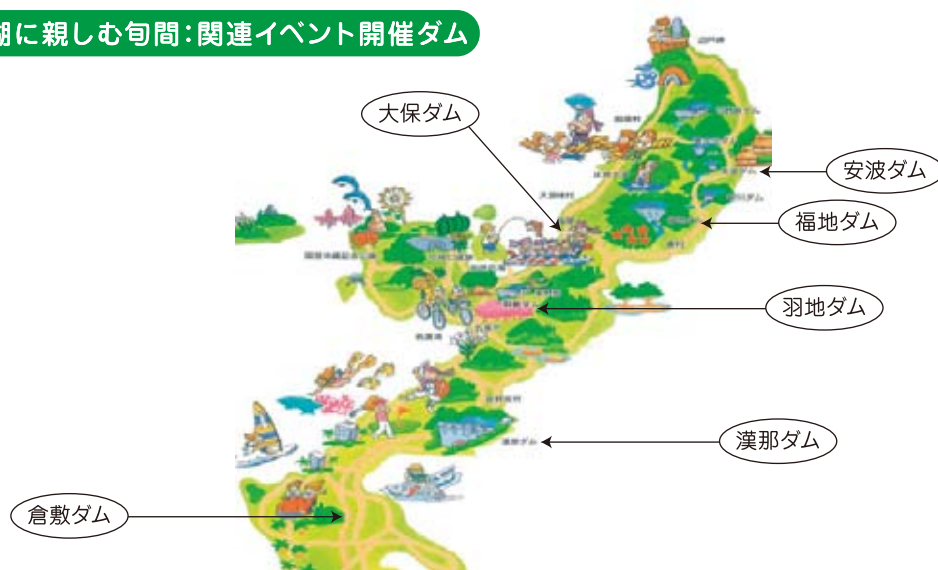
ここでは「森と湖に親しむ旬間」に開催されるイベントを紹介します。ご家族、知人等お誘い合わせのうえご来場ください。

「森と湖に親しむ旬間」について

農林水産省と国土交通省では毎年7月21日～7月31日の期間を「森と湖に親しむ旬間」と定め、森林やダム・河川に親しんで頂くために全国各地でイベントを開催しています。

沖縄県内では、県民に森と湖に親しむ機会を提供することによって、森林・ダム・河川・水資源等の重要性について県民の関心を高め、理解を深めてもらうとともに、ダム所在地域の観光振興及び活性化に寄与することを目的に、6つのダムでダムまつり等を実施しています。

森と湖に親しむ旬間：関連イベント開催ダム



行事名	開催日	開催場所	内容(※変更になる場合もあります)	実行委員会連絡先
漢那ダムまつり	7月24日(日) 予定	漢那ダム (宜野座村漢那)	・カヌー体験・自然体験クイズ・木工竹細工教室 ・うなぎつかみどり等・湿地ビオトープでの生物観察会等	098-968-5100 宜野座村企画課
安波ダムまつり	7月24日(日) 予定	安波ダム (国頭村安波)	・ダム湖面遊覧・ダム施設見学・夏休み親子ふれあいイベント等	0980-41-2101 国頭村企画商工観光課
倉敷ダム「森と湖に親しむ旬間」行事	8月7日(日) 予定	倉敷ダム (沖縄市倉敷)	・7/12_記念植樹(市内小学6年生を対象) ・8/7_グランドゴルフ大会、ダム施設見学会等	0980-939-1212 沖縄市建設部建築・公園課
福地ダム夏休み自然体験教室	8月6日(土)	福地ダム (東村川田)	・カヌー体験・自然観察船・ダム施設見学・福地川川遊び・工作体験等 ・東村つつじエコパークにて東村夏祭り	0980-43-2265 東村企画観光課
大保ダムまつり	10月23日(日)	大保ダム (大宜味村田港)	・川遊び・木炭・窯だし体験・ダム施設見学・グランドゴルフ大会・工作体験等	098-968-5100 大宜味村企画観光課
羽地ダム鯉のぼり祭り(実施済)	5月4日(水) 5日(木)	羽地ダム (名護市田井等)	・カヌー体験・羽地大川川遊び・ダム施設見学 ・ちびっこ相撲大会・手作り玩具教室等	0980-53-1212 名護市商工観光課



遊覧船でダム湖上流へ!
カヌー体験もあり!



ウナギつかみ取り。
子供達もオオハシャギ



県内唯一のダムでの
ウオータースライダー

◆◆◆人事異動のお知らせ◆◆◆

沖縄総合事務局次長に竹井 嗣人^{たけい ひで と}が就任

平成23年6月3日付け 広島県出身 50歳
昭和58年総理府入府。内閣府大臣官房参事官を経て
現職

趣味／山歩き、水泳、読書

抱負／新たな振興策の検討が進められているこの大
切な時期に、現地である沖縄総合事務局で勤
務できることを大変楽しみにしております。



消費者の部屋特別展示の開催情報

～ごはん食・米粉の推進のためのパネル展～

沖縄総合事務局農林水産部では、ごはん食・米粉を推進する
ため、「めざましごはん」や米粉、食料自給率について分かりやす
く紹介したパネル展示を行います。

また、「チャレンジめざましドリル」と題した、朝ごはんの習熟
度を検証できるコーナーや、ごはん給食の取組を紹介するDVD
を上映するコーナーも用意しております。

是非、この機会に足をお運び下さい。

日時：平成23年7月11日(月)～13日(水)

9:00～17:00(最終日は16:00まで)

場所：那覇第2地方合同庁舎2号館 行政情報プラザ

※御不明な点等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
農林水産部生産振興課(担当：大城、石田、伊波)Tel：098-866-1653

海の日

7月18日

7月の第3月曜日は「海の日」です

大切なことは海が教えてくれました。



海の月間 7/1～7/31



国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会 【事務局】(財)日本海事広報協会 TEL.03-3552-5035 FAX.03-3553-6580

【連絡会構成団体】

(社)日本船主協会／(公財)日本財団／日本内航海運組合総連合会／(社)日本造船工業会／(社)日本港湾協会／(社)日本港運協会／(社)日本倉庫協会／(社)日本旅客船協会／(財)海上保安協会／全日本海員組合／(社)大日本水産会／(社)日本海洋少年団連盟／(社)日本外航客船協会／(社)日本船長協会／全国海友婦人会／(社)日本冷蔵倉庫協会／(社)日本海難防止協会／(財)日本水路協会／(公社)日本水難救済会／(社)燈光会／(社)日本観光振興協会／(財)運輸振興協会／(社)日本海事代理士会／(財)海技教育財団／(社)日本マリナー・ビーチ協会／(公財)日本海事センター／(財)日本海事広報協会

後援:国土交通省

沖縄総合事務局

<http://www.ogb.go.jp/>

広報誌【群星】に対する「皆様の声」をお待ちしています。